



4月のリニューアルで投資・金融情報がますます充実!

金融商品情報も充実。資産運用を基本から学べる「マネー」



① 資産力UP

資産運用の基本的な知識を身につける入門ガイドのほか、資産運用の力を向上するためのノウハウを学ぶ記事がまとまっている。これから資産運用を始めようという初心者はもちろん、投資歴が長い人にも参考になる情報を掲載している。

② 投信・ETF

投資初心者がいきなり個別株に挑戦するのはリスクが高い。投資のプロが運用する投資信託やETFからスタートしよう。自分の投資スタイルを指定すれば、それに合った投資信託が見つかる「投信発掘ツール」などの便利ツールが用意されている。

投資に役立つ日経の最新情報を入手できる「マーケット」



① 日経会社情報

国内で上場する全企業について、株価の現在値やチャートに加え、業績や財務指標などの情報も見られる。また、参照中の会社に関連するニュースや分析記事も併せて読むことができる。

② ランキング

売買高や時価総額、PER/PBRなど基本的な数値だけでなく、株式投資収益率やβ値などポートフォリオ診断の参考指標となるデータも掲載。日本経済新聞だからこそ掲載できるデータだ。

③ 銘柄フォルダ

気になる銘柄を登録しておけば、現在値や前日比、チャートなどが一覧表示される。表示形式をカスタマイズできるので、自分が重視する情報を目立たせられる。投資信託や預貯金残高も追加でき、ポートフォリオ管理にも便利。

便利ツール

財務指標から銘柄を絞り込む「銘柄発掘ツール」、銘柄を36の指標で比較する「銘柄比較分析リーダー」、各種テクニカル指標も見られる「スマートチャート」など投資先の決定に役立つ分析ツールが用意されている。

投資・金融情報は日経電子版にお任せ

リニューアルで使いやすくなった日本経済新聞 電子版で資産力をアップさせよう!



投資の初心者から上級者まで活用できる

電子版 犬 犬 犬
デンシバ

4月に電子版の投資・金融情報が全面刷新。初心者向けの入門記事から投資先決定に役立つ分析ツールまであらゆる投資家のニーズに対応できるサービスになった。

昨年3月にスタートした「日本経済新聞 電子版」は、およそ1年で80万人近くの会員を獲得した。日本経済新聞に掲載されたほぼすべての記事を読めるだけでなく、24時間体制で電子版独自の最新ニュースも配信している。ニュース画面からクリック1つで関連記事や解説、写真などを表示できるので、情報を深掘りしやすい。また、携帯電話やスマートフォン、電子書籍端末を使って場所を選ばずに最新ニュースを見られる。有料会員として登録すれば、便利な機能が使えるようになる。過去5年分の記事から読みたい情報を探せる検索機能や、キーワードを登録しておく関連記事を自動的に収集してまとめ読みできる機能、気になる記事をスクラップ保存できる機能などがある。「My日経」が便利だ。膨大な記事の中から自分に合った情報を簡単にピックアップして、活用できる。

投資・金融情報が整理されたサービスが使いやすくなった

投資に役立つ情報を集めるのにも、電子版を活用できる。従来は膨大な投資関連のコンテンツやサービスがすべて「マネー」セクションにまとめられていたが、

記事	内容
コラム 「いつかは経済自由人!」	自分らしく生きるために必要なマネー情報を、ユーモアを交えて紹介する
知っ得マネー術	金融商品、サービス、節税などに関するうんちく、豆知識を紹介する
株式投資入門	経済評論家の西野武彦氏が、株式投資についてやさしく解説する
金投資入門	今注目の「金」の投資に関する基礎知識、お得な情報を掲載する

記事	内容
株式FOCUS	相場の先行きをプロに聞くほか、材料や地合いをベテラン記者がタイムリーに解説する
日経会見速報	日経総裁会見の要旨・全文をまとめた記事に掲載する
外為・金融FOCUS	外為の緊急特集記事。コメント集や臨時解説も掲載する
新興国ウォッチャー	オーストラリア、ブラジル、インドなどの市場に関する記事を掲載する

4月の投資・金融情報の全面刷新で「マネー」「マーケット」の2つのセクションに分割された。情報が探しやすく、サービスも利用しやすくなり、左表のような新コンテンツも追加された。新しい「マネー」セクションは、主に投資初心者を対象としている。投資の基礎知識や投資信託の選び方、年金や保険の管理方法など資産運用を始める上で知っておきたい情報が満載だ。家計に役立つ金融商品情報も充実している。資産運用を始めたい人はここで勉強するといいたいだろう。「マーケット」は投資に役立つあらゆる情報をカバーする。株式や為替、商品などの最新データはもちろん、日経の数百人の記者が取材したニュースや分析記事

を併せて読める。フレッシュユナ市況情報と的確な分析記事が投資の判断に役立つことだろう。ほかにも、投資すべき銘柄を決めるために、11の指標から銘柄を絞り込む「銘柄発掘ツール」、36の指標で銘柄を比較する「銘柄比較分析リーダー」などの分析ツールが用意されているのもうれしい。さらに有料会員なら国内市場に上場する全企業を網羅した「日経会社情報」も利用できる。資産運用で成果を上げるためには、情報をいち早く入手するだけでなく、投資に生かすための知識も必要だ。日経電子版は最新データをリアルタイムで提供するうえ、それを活用するための材料を与えてくれる点で心強い存在と言えるだろう。